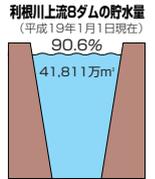


水道だより

No.137
越谷・松伏水道企業団



2007年 1月号

水道統計
給水人口(平成18年12月1日現在)…………… 349,815人
給水世帯数(平成18年12月1日現在)…………… 138,061世帯
平成18年12月分1人1日平均配水量…………… 318ℓ



朝日に照らされる江戸川(松伏町・野田橋付近)。この川の水が県の浄水場で浄化され、わたしたちの使う水道水となる。

越谷・松伏水道企業団の
ホームページをご覧ください。
<http://www.koshi-matsu.koshigaya.saitama.jp/>
TEL 048-966-3931
FAX 048-963-0706



寒風に耐えて咲くサザンカ(松伏総合公園)



議長
永井 龍男

新年おめでとうございます

企業長
須賀 清光



皆さま方には、希望に満ちた新年を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

水はわたしたちにとって欠くことのできない「生命の源」であります。水道企業団では、非常時の水源として地下水保全に努めるとともに、積極的に配水管の改良を図るなど、災害に強い施設づくりを進めております。

昨年8月には広島で、岩盤の崩落によって送水トンネルが寸断されて約2万5000世帯が断水し、市民生活に大きな影響を与えました。事故や災害時には、水道企業団が応急給水で対応いたしますが、各ご家庭でも、万一のために「飲料水」などを準備しておくことが必要ではないかと考えます。

議会といたしましては、本年も皆さま方の負託にお応えし、水道企業団が常に安全な水を安定して供給できるよう活動してまいり所存です。

皆さま方のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご家族の皆さまお一人お一人が、ご多幸ご健康でありますことを心からお祈り申し上げます。

市・町民の皆さまには、2007年の輝かしい新年を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

水道事業体の使命は、常に安全で良質な水道水を安定して供給することにあります。そのため、昨年策定した「水道事業基本計画2006」に基づき、水環境の未来をしっかりと見据えながら、着実に事業を推進してまいります。

昨今は、水道水の安全性や味に対する要望が高度化する一方、節水型のライフスタイルが定着し、給水人口は増加しているにもかかわらず使用水量が伸びない状態が続くなど、水道事業を取り巻く環境は大きな変化が現れております。このような状況に速やかに対応するため、従来の仕組みにとらわれることなく、変革する勇気をもって、より一層のサービス向上と経営の効率化を図り、持続可能な水道事業経営を目指してまいります。

本年も企業団職員一丸となり、水は生活の一番の根幹であるとの認識のもと、お客さまの信頼に応えうる事業運営に努めてまいりますので、温かいご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成17年度 決算のあらまし

水道事業は、地方公営企業として経営され、皆さまの水道料金を主な収入源として独立採算制で運営されています。水道事業会計には、【収益的収支】と【資本的収支】があります。収益的収支は、水道料金などの〈収入〉と、人件費や原水購入費等の水を届けるための費用である〈支出〉からなり、資本的収支は、国からの借入金や加入者分担金などの〈収入〉と、安全な水を安定して送るために必要な施設整備や配水管布設工事などの費用である〈支出〉からなっています。

平成17年度〔平成17年4月～平成18年3月〕の【収益的収支】の〈収入〉は73億983万円、〈支出〉は67億9,591万円で、5億1,392万円の利益が生じました。【資本的収支】では、〈収入〉は23億2,736万円、〈支出〉は38億6,420万円で、15億3,684万円の不足額が生じました。

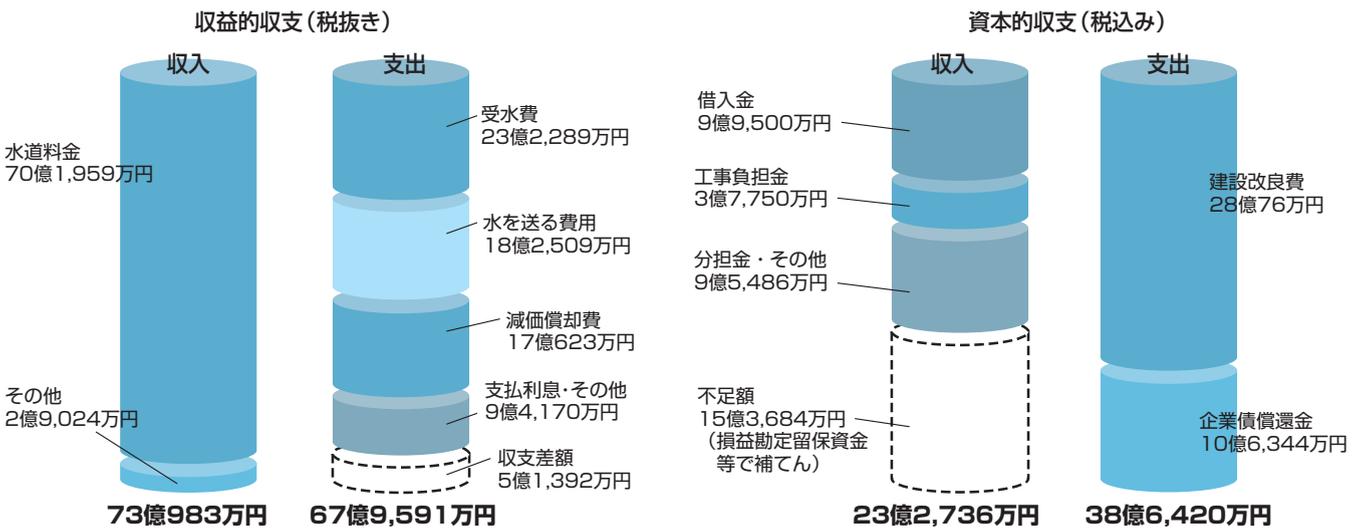
収益的収支のプラス要因は、収入においては、年間配水量お

よび有収水量は前年度を下回りましたが、有収率がわずかながら向上し、給水収益が前年度に比べおよそ0.5%増加したためです。また、支出においては、経費節減に努めたことにより、前年度より費用を削減することができたためです。

資本的収支の支出は、配水施設整備の建設改良費が28億76万円（支出構成比72.5%）、企業債償還金10億6,344万円（同27.5%）となっております。不足額については、過年度損益勘定留保資金などによって補てんしました。

平成17年度の年間配水量は約4,079万立方メートル。その94.5%を占める有収水1立方メートル当たりの販売（供給）単価は182円07銭、給水原価173円61銭となりました。

今後も引き続き効率的な運営、経費節減等を行い、財政の健全化に努めてまいります。

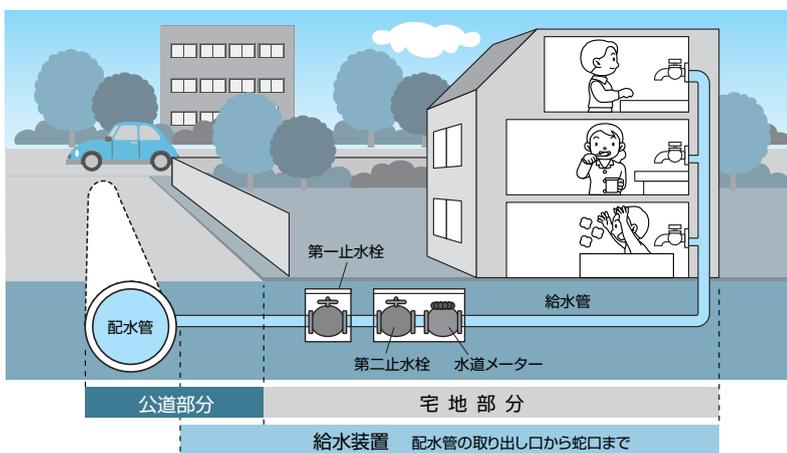


土地や建物の所有権を変更された方 「給水装置所有者変更届」が必要です

水を送るために公道に埋められた水道管を配水管（本管）といいます。配水管からご家庭の蛇口までの設備は「給水装置」といい、これはお客さまの大切な財産です。売買や相続、贈与により給水装置が設置されている土地や建物の所有権を変更したときは、速やかに「給水装置所有者変更届」を提出してください。

届出用紙は水道企業団2階給水課でお配りしているほか、ホームページの「水道とくらし」→「届け出について」からもダウンロードできますのでご利用ください。

■問合せ／給水課給水第1係・給水第2係 内線241～247



好評の「越松深水」販売を始めました

「越松深水」（500mlボトル）は水道事業のPR用として製造しましたが、「越谷市民まつり」や「ふれあい松伏フェスティバル」などでお配りし、皆さんからご好評をいただきましたので、昨年12月から販売を始めました。水道企業団にお越しの際はぜひお求めください。

販売価格	販売場所
1本 100円	水道企業団玄関前自動販売機
1箱(24本) 2,100円	水道企業団1階営業課窓口

価格は消費税込み。窓口での販売は月曜～金曜日(祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分です。

■問合せ／営業課料金係 内線221



上・下水道料金のお支払いは、便利な【口座振替】を利用しましょう。

12月議会 結果報告

12月定例議会が12月21日に開かれ、企業長提出の2議案が原案のとおり可決されました。

- 越谷・松伏水道企業団職員公務災害等見舞金支給条例の一部を改正する条例制定について
- 平成18年度越谷・松伏水道企業団水道事業会計補

正予算（第1号）について

また、9月定例議会において、閉会中の継続審査となっていた議案「平成17年度越谷・松伏水道企業団水道事業会計決算認定について」は特別委員会を設置して審議いただいた結果、12月議会にて認定されました。

水道モニターを募集します

水道について皆さんが日ごろ感じていることやご意見を広くお聴きし、事業運営に反映させるため、水道モニター（一般モニターおよび意見交換を電子メールの送受信等によって行うインターネットモニター）を募集します。

■応募資格

- ・越谷市、松伏町に居住し、当企業団の水道を使用している満20歳以上の人
 - ・水道に興味、関心のある人
- ※水道モニター経験者、水道事業関係者は除きます

■募集人員

40人（応募者多数の場合は選考）

■活動内容

- ①「水道モニター通信」の提出
- ②「アンケート調査」への回答
- ③会議、ダム等の施設見学会への参加

■任期

平成19年4月から平成20年3月まで

■謝礼

1年間の水道モニター活動に対し薄謝

■応募方法

はがき、封書または企業団のホームページ上にある「ご意見・ご要望」のメ

ールフォームに、郵便番号・住所・氏名・生年月日・職業・電話番号・メールアドレス・応募理由（100字程度）・一般モニターおよびインターネットモニターの別を記入のうえ、お申し込みください。

■応募締め切り

平成19年2月16日（金）

*応募者全員に結果を通知します。

■申込・問合せ

管理課経営計画係 内線267



平成19年度水質検査計画を策定しました

水道企業団では、安全でおいしい水をお届けするため、定期的に水質を検査しています。水質検査計画は、検査の「項目」「場所」「頻度」などをまとめたもので、毎年事業年度前に策定し公表することとなっています。

検査計画の特徴

①浄水場から蛇口（給水栓）まで、水質

を適正に管理します。

- ・各浄・配水場での検査のほか、皆さんにお送りしている水道水を区域内の給水栓で検査します。
 - ・検査項目の色、濁り、残留塩素は区域内の6ヵ所の給水栓で自動測定します。
- ②より高い安全性を求め、水質管理目標設定項目も検査します。

・将来にわたる水道水の安全性確保のため、水質基準項目と同様に定期的に検査します。

③検査結果を定期的に公表します。

・検査結果は、水道だより、ホームページで公表します。

検査項目など詳しくはホームページの「水道水について」→「水質検査計画」でご覧になれます。

■問合せ 浄水課水質係 内線274

水道教室

滝沢ダムを見学

水道企業団では、水源となるダムの重要性や水道水が家庭に届くまでの過程を知ってもらうこと、水や河川環境をきれいに保つ意識をもってもらうことを目的として、毎年水道教室を開催しています。

10月27日、今年3回目の水道教室を開きました。訪問先は秩父市大瀧の滝沢ダムで、参加者は生活に欠かすことのできない水の大切さやダムの役割について学びました。



ダム本体の上で説明を聞く参加者の皆さん

水道教室参加体験記

越谷市蒲生菫町在住
奥野 洋子さん



建設中の滝沢ダムを見学する水道教室に参加しました。現地では、はつらつとした女性スタッフの説明を受け、作業中のダンプカーが行き交うダムサイトの上を歩き、ダム湖の大きさや周辺の様子に圧倒されました。人は自然を利用してすごいことができるのだと改めて感動しました。このダム建設は、予備調査から完成まで40年もかかる大事業です。自然の恵みと人間の英知が合わさり、荒川水系の水道用水として、県民や都民の生活を潤す水が供給されることを知りました。良質の水が豊富に利用できる幸せを感謝します。

帰途に訪ねた「川の博物館」では、荒川大模型を見学。源流から東京湾の延長173キロが千分の一の縮尺で造られていて、荒川の地形や位置関係が理解でき、勉強になりました。観光旅行では行かない所でしたので、とても良い経験で有意義な一日でした。

親水文化サロン

越谷市・松伏町にまつわる文化や施設などをご紹介します。

天領米が産んだ酒 「まつぶし誉」順調

越谷・松伏地区には、文化、産業、スポーツなどの各分野で活躍された先人、現在も活動を続けておられる方がたくさんおられます。今回は、松伏町の地酒「まつぶし誉」誕生にまつわる群像と熱い思いを紹介します。

お酒の好きな人たちの集まりは、とかく、飲むほどに酔うほどに雰囲気盛り上がるものです。松伏町の居酒屋で開かれた日本酒愛好家の団体「地酒陸会」の発足10周年記念会では、なんと「地元の産米でおいしい地酒を造ろうではないか」と一気に燃え上がったのです。平成5年のことでした。

「地酒陸会」はほぼ毎月、全国各地の有名なお酒や隠れた銘酒を数点用意し、利き酒会のような品評会・鑑評会めいた方法で酒の味を楽しんでいました。会員20余名。現在、200回超。会長は当時町会議員で現在は越谷・松伏水道企業団参与の会田重雄さん。10周年記念会には、たまたま飯能市の蔵元・五十嵐酒造の社長さんが招待されていたのがきっかけでもありました。

松伏町には、地元特産といえるものは、前号で紹介しました「増田商店の久寿餅」など数少ない実情。新しい特産品を産み出して“まちおこし”の起爆剤にしたいと



酒造米「トヨニシキ」の収穫を喜ぶ高橋さん(右)と生産者の藤江進さん

の声が以前からありました。そんな席上で五十嵐社長から「地元の産米で酒を造ったら。うちで造ってあげる」との一声があったのです。

陸会のメンバーが飛び付いた、というのが本当のようです。さっそく



松浦実行委員長

「まつぶしの酒造り実行委員会」が発足します。メンバーは公募で、各界の住民が参加。と言っても全く手探りの試みだけに、大変な苦労がありました、と当時の関係者は語ります。でも、いろいろなアイデアが出されました。幕府直轄の領地・天領だったことから「水と空気のきれいな松伏天領米で造ったお酒」との宣伝コピーもその一つ。町の人びとは「天領」との歴史に誇りと郷愁を強く持っていることの表れでしょうか。酒造用には地元産米から「日本晴」の品種が選ばれました。

お酒の名前も公募。100数十点の応募があり、「松伏ほまれ」に決まりかけたのですが「マツブセ」と読み違えられる心配があること、会津の酒に似た銘柄があることから、「まつぶし誉」と決まりました。



松伏町特産品「まつぶし誉」

ラベルには天領にちなんで「將軍家の三つ葉葵」を配し、文字は陸会会員の石川眞佐江さんの書によるものです。石川さんはそば・うどん店を経営していますが絵画が趣味で、先年、町中央公民館でご主人と合同の展覧会を開き、大変好評でした。

実行委員会はいきなり2,000本を注文。この資金繰りに悩みました。全部売ればいいが大量に売れ残ったらどうしよう——推進役の会田会長、実行委員長の高橋亨、町役場の林正大さんの4人が飯能の五十嵐社長を訪問。「一人で500本ずつ買い取りますから、よろしく」と身を縮めて伝えました。「あまり気にせんで……」。「会長運転の車でしたが飯能は遠く感じたなあ」「途中は、定期預金の解約のことばかり考えていた」などと述懐しています。



ラベルの文字を書いた石川さん

平成7年2月、ついに特別純米酒「まつぶし誉」誕生。「初めて口にした時、涙で味が分からなかった」とは、少しおかげさにしても感激ぶりは分かりますね。

昨年から、新しい酒造米「トヨニシキ」に替え、地元の藤江進さんが生産。「プラス3度、やや辛口だが飲みやすく飽きがこない」味わいは変わりません。1.8リットル、2,850円。1.8リットル換算1,000本限定生産でファンは定着。贈答用にラベル特別注文で求める人も多そうです。群像を代表して——。

会田会長「松伏の自然が産んだ酒。一度味わって！」
松浦さん「私たちも努力しますが、順調に売れて！」
高橋さん「越谷のお客さんも来て来ています」
林さん「この地の歴史に残る酒であってほしい」
石川さん「おかげ様でお客さんに好評でうれしいです」
「おいしい酒でも、飲んだら乗らない」(警察から)